



いのちを守る、暮らしを守る。

2017年9月20日 第66号

東京都議会議員  
都議会公明党

# 遠藤守レポート

## 都議会定例会、20日開会

都議会定例会が20日開会しました。10月5日までの会期中、都議会公明党と都民ファーストの会東京都議団が共同提案した、子どもを受動喫煙から守るための努力義務を盛り込んだ条例案が審議されるほか【裏面に関連記事】、都側から提出された東京オリパラ競技会場となる有明テニスの森公園・有明コロシアムの改修工事請負契約案や名誉都民4人の選定案などを審議します。主な日程は以下の通りです。

- 20日： 本会議（知事の所信表明演説）
- 26日： 各党代表質問、27日： 一般質問
- 28日～10月3日： 常任委員会
- 5日： 本会議（採決）



### 先進保育所を視察 「幼児英語」など高度な技能持つ保育士が活躍

遠藤守都議は9月15日、最先端の園舎で、高度な技能をもつ保育士が活躍している認可保育所「江東湾岸サテライト スマート ナーサリー スクール（江東区有明）」を訪れ、音楽、体操、英語など多彩なカリキュラムの様子を見学、園関係者と意見交換しました。

同園の特色のひとつは、幼児英語の専門スキルを持った「バイリンガル保育士」が多数配置され、0歳児から自然な形で英語に触れられること。また、2020東京オリパラの会場が近くに整備される立地を生かし、大会期間中、園児・保育士による集団演技を披露することや、日本の高い保育技術を世界に紹介する「体験型プログラム」も考案中との話でした。同園と東雲にある分園間には朝夕、送迎バスが運行され、保護者から喜ばれ、待機児童解消にも一役買っているそうです。

今後の都の保育施策を考えるうえで、刺激に満ちた視察になりました。

# 子どもを受動喫煙から守りましょう！

公明、都民ファで条例案を共同提案、社会の努力義務を明記

都議会公明党と都民ファーストの会東京都議団は、開会中の都議会定例会に、「子どもを受動喫煙から守る条例案」を共同提案しています。

家庭や公園、小児医療施設、自動車内などにおける受動喫煙防止の努力義務を明記。罰則規定はありません。

9月29日の厚生委員会で質疑され、私も提案者として答弁に立つ予定です。

条例制定に向け両党は、7日、8日を中心に、教育、飲食、医療、たばこ、娯楽など、関連する約20団体からヒアリングを実施。意見公募(パブコメ)も行いました。



賛成、反対それぞれの立場の意見を聴取(上)。条例提案に向け、公明、都民ファ共同で記者会見(下)。

## 臨時議会 豊洲関連予算で論戦

### 小池知事、公明の提案受け現地視察

都議会臨時会は、豊洲市場の追加安全対策工事費など約55億円を計上した補正予算を、公明、都民ファースト、自民などの賛成多数で可決し、9月5日閉会しました。

今回、各党代表質問などを通じ、豊洲市場開場に向けた追加工事が、いわゆる「盛り土」と同等の効果を持つことを明らかになったことから、公明党は「工事を迅速に進めるべき」と主張。一方、豊洲地域に広がる風評被害の払しょくに向け、一般都民や事業者を対象にした市場見学会の拡大、小池知事自身の現地視察(9日に実施済み)を提案しました。